

6-2 岐阜県東部・長野県西部における地殻活動観測結果(2023年11月～2024年4月) Observation of Tectonic Activities in Eastern Gifu and Western Nagano Regions (November, 2023 ~ April, 2024)

産業技術総合研究所
Geological Survey of Japan, AIST

1. 観測概要

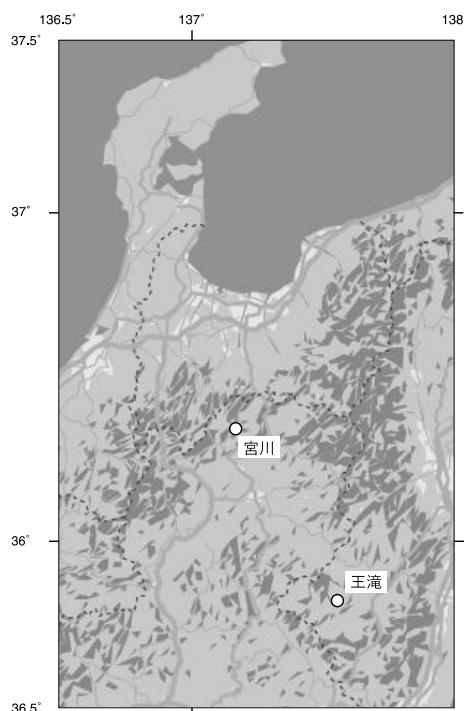
産業技術総合研究所は岐阜県東部の宮川及び長野県西部の王滝において地殻活動総合観測設備を設置している(第1図)。宮川では深度約300mの孔井を掘削し、深度256.78～267.66mの滞水層の地下水位の計測を行っており、王滝では深度約815mの孔井を掘削し、深度645.24～663.35mの滞水層の地下水位の計測を行なっている。

2. 観測結果概要

宮川・王滝の水位(第2図, 第3図)：

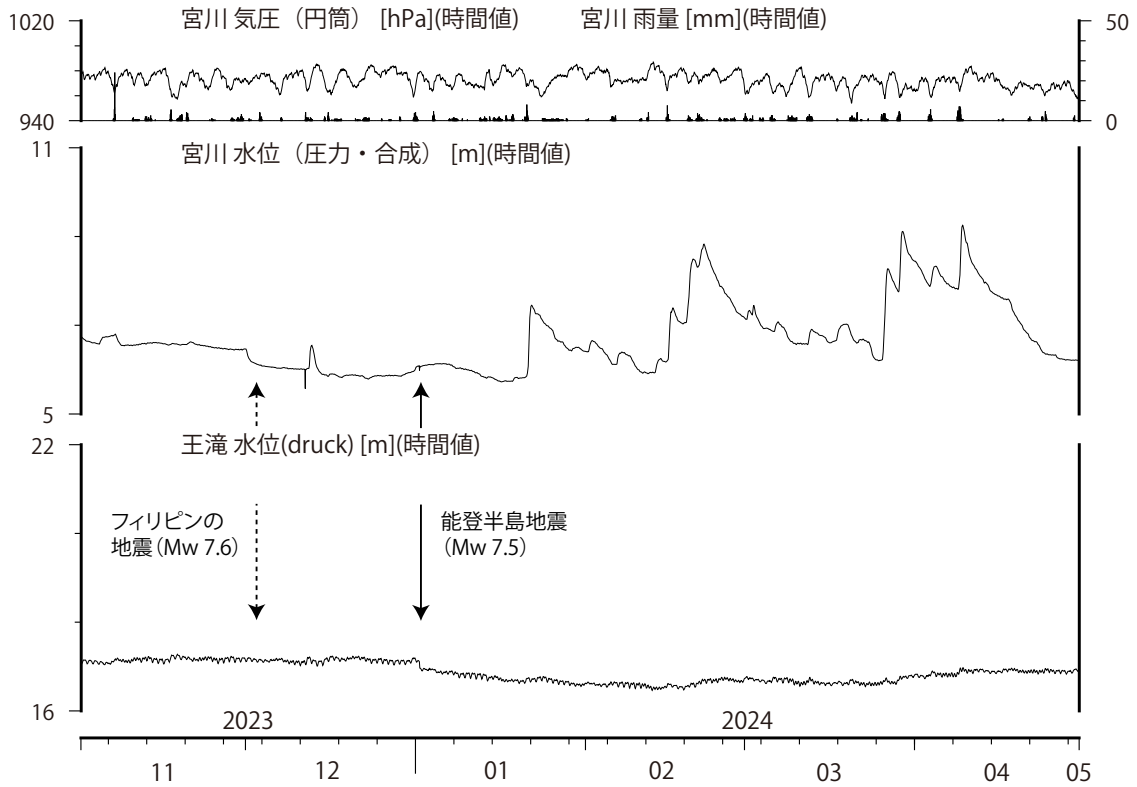
潮汐変化を書く。宮川では降雨の影響が大きい。2023年12月2日フィリピンの地震Mw7.6で地下水位の変化は見られない。2024年1月1日令和6年能登半島地震Mw7.5では、宮川の地下水位が地震後20分で約12cm低下し、約半日後におよそ元の水位に戻り、王滝の地下水位が地震後15分で約9cm低下し、その後も低下の傾向となり1月18日に地震前から約44cm低下した。

(木口努・今西和俊・松本則夫)



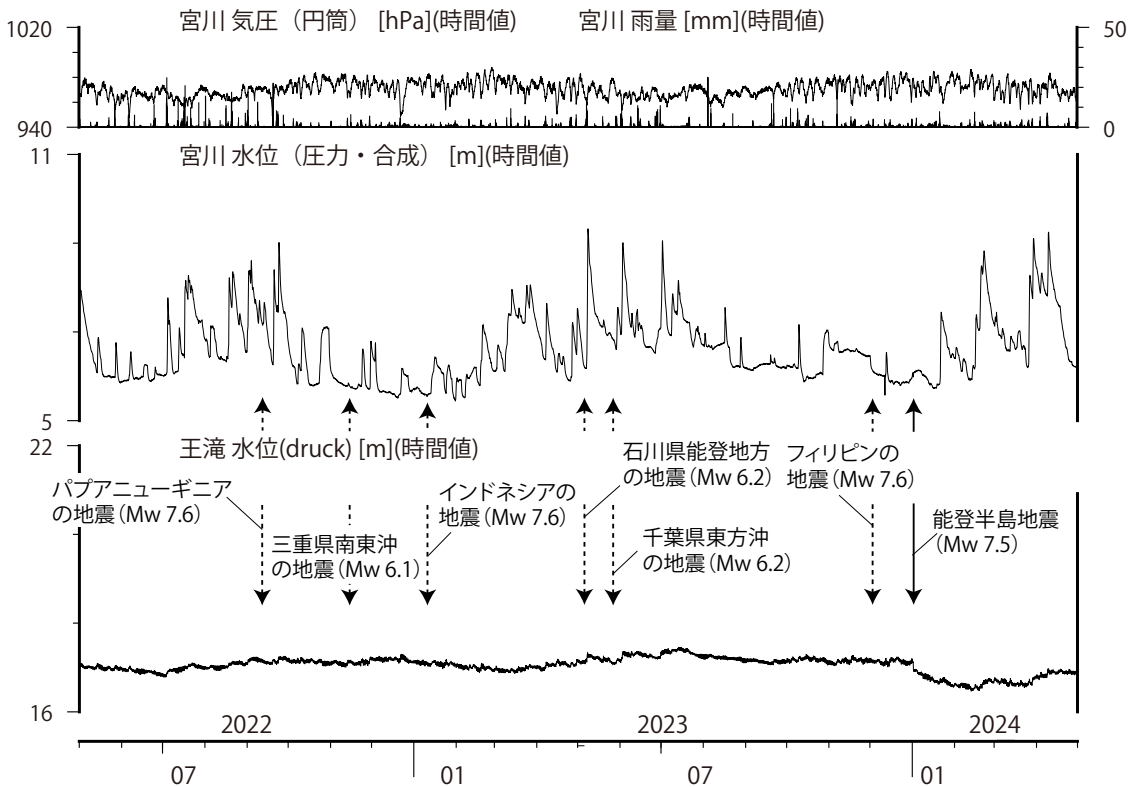
第1図 岐阜県東部の宮川及び長野県西部の王滝の観測点位置

Fig. 1 Location map of the observation boreholes at Miyagawa and Outaki.



第 2 図 宮川と王滝における水位観測結果 (6 ヶ月間)

Fig. 2 Results of groundwater levels at Miyagawa and Outaki (for 6 months).



第 3 図 宮川と王滝における水位観測結果 (2 年間)

Fig. 3 Results of groundwater levels at Miyagawa and Outaki (for 2 years).